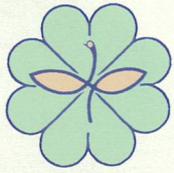


2024年12月1日

第27号



民児協

# みんじきょう流山

発行 流山市民生委員児童委員協議会 会長 平井 加代子

## つなぐ 支える 地域とともに



### 台同防災訓練の様子

6自治会から約300名の参加者が集まりました。



あ！地震だ！頭を守れ！

令和6年は、幕開け早々能登半島地震が発生し、流山市と姉妹都市となっている能登町も、大変な被害を受けましたが、今もって避難所での生活を余儀なくされておられる方も多く聞いています。

そしてその後も各地で災害が起きていますが、これは決して他人事ではありません。全国どこでも災害はおきると想定し、いざという時の備えとして、地域支え合い活動の日頃の実践と災害発生時の為の訓練は重要です。

また、普段から、声掛け・サロン活動・おまつり・イベント等で地域とつながりを持ち、日々の生活を元気に、ご近所と仲良く過ごす事が、有事の際に役に立つ最大の備えなのではないでしょうか。

自分の命が助かる可能性を高めるためにも災害に対する意識や備えを、日々心掛けて過ごしましょう。

流山市民生委員児童委員協議会 会長 平井 加代子

### 東深井中学校区

東深井第二自治会では、防災マップを作りました。災害時に役立つ施設や場所などを調査し、地図上に災害時協力井戸、消火器、公衆電話、AED設置箇所を識別しました。災害から自分達の町は自分で守ろうをスローガンに作成されたこの防災マップは、災害時の被害を最小限に抑える大切なツールとなっています。



また、同自治会では、大規模災害が発生後の安否確認として「無事ですタオル」を全世帯に配布しました。災害が収まって家族全員が無事だった場合、玄関、ポストなど道路から見やすい場所に掲げる事によって、そのお宅の無事を確認するものです。災害では、迅速な救助が第一と考え一人でも多くの大切な命を救いたいと導入しました。

### 北部中学校区

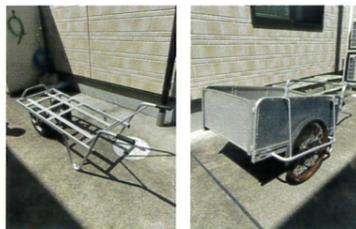
6月に北部・北部西地域包括支援センター主催のケアマネ交流会にて、地域のケアマネさんと東深井中学校区・北部中学校区の民生委員・児童委員が顔を合わせて『避難所運営ゲーム“HUG”』の研修をしました。多様なニーズを持つ避難者の受け入れ、次々に起こりうる困りごとや届く支援物資への対応など、運営側に押し寄せる判断の難しさを感じるとともに、状況を具体的に想像した日頃からの備えの大切さを学びました。



また、6月定例会にて流山市視覚障害者協会会長の染谷様から“防災のことを考えてみませんか～目の不自由な方のための災害時初動行動マニュアル～”をご紹介いただくなど、相手に寄り添った支援についても理解を深めています。

### 常盤松中学校区

常盤松中学校区からは、とあるマンションの防災設備をご紹介します。リヤカーは各自治会でも保有していますが、こうした防災設備はいつでも動せるよう日頃の取扱訓練が大切です。



リヤカー  
ケガ人・物資も運べます。



イーバック+チェア（災害・非常用階段避難車）  
要支援者や歩行困難なケガ人を階段でも安全・円滑・迅速に避難させられます。

### 西初石中学校区

初石パーク・ホームズ管理組合および同自治会では毎年1月に、防災訓練を実地しています。安否確認、仮設トイレ設置、井戸水給水、発電機や蓄電池の稼働の訓練実施を行うとともに、流山消防署の協力を得て、初期消火や通報、はしご車・起震車・けむり体験なども実施しています。自分たちの地域は自分たちで守ろう！と呼びかけしています。



## 地域の防災訓練の様子

民生委員・児童委員は地域の防災活動に協力しています。常日頃から地域ぐるみの防災、減災への取り組みが大切です。



## 緊急・災害時に備える『救急情報カード』

### 活用しましょう！

「救急情報カード」は、緊急連絡先、医療機関・お薬、災害時の配慮事項等の情報を記入し、緊急時・災害時に備えるものです。

救急隊員や地域の支援者が必要な情報を確認して、急病・ケガで倒れたときや災害時に、迅速かつ的確な支援を行うことができます。



### おおたかの森・おおくろの森中学校区

フォレストレジデンス管理組合防災委員会主催で市野谷調整池の見学会が行われました。水害時に重要な役割を果たす調整池。晴天の中、世帯数568の内約70名が参加し、市の水道建設課の案内のもと初めて施設の中に入りました。調整池の役割を教してもらい、ハザードマップからその放流経路を確認しました。江戸川と利根川に挟まれた私達の街。異常気象や大雨による災害の数が大幅に増加している今、地域の特性を学び理解を深め、防災に生かすことも大事なことです。



### 南部中学校区

平和台自治会では約800世帯を3区分し、小規模の地区別防災訓練を毎年実施しています。消防署の指導によるAED体験、応急救護訓練、起震車体験、消火器体験、煙体験を通して防災意識を高めています。また、災害時に「共助」の活動を部長・班長がスムーズにできるように「わが家の防災」（部長・班長の防災）の改訂版を作成中です。



東急ドエルセンターコートでは自治会・理事会・防災会の共催で、防災訓練を毎年実施しています。安否確認は館内放送で地震発生を知らせ、玄関ドアの外側に「安否確認シート」を張り出し、ボランティアで551世帯の「安否確認シート」の張り出し確認をします。今年度は450世帯が参加。午後には中央広場に集合し、消防署の指導による起震車体験、煙体験、消火器訓練を行っています。



### 南流山中学校区

7月、鱈ヶ崎地区社協、鱈ヶ崎団地ブロック主催による流山市防災危機管理課を招き、自治会内の75歳以上の方を対象とした防災講座が開催、定員を上回る78名の参加となりました。講演では、流山市作成のハザードマップの紹介のほか、講座向けの資料が用意され、ご自身の経験をお話された事で会場からは傾く人が多数いました。



また、防災放送は電話でも確認できること、スマートフォンの安心メールの登録方法など詳しく説明があり、資料の他、非常食のサンプルも配布されました。このように講座を開催することで、世代を超えて地域の結束が必要と再認識することもできました。

### 八木中学校区

長崎小学校避難所運営委員会は、2016年に長崎地区の12自治会が担当者を選出し、民生委員児童委員が1名加わって、年に3回の委員会を開催しています。委員会では、避難所運営ゲーム（HUG）を通して、避難所で起こり得る状況の理解と適切な対応を学び、次に避難所開設、運営訓練を実施しています。2018年、流山市総合防災訓練の時には避難所開設、運営訓練を体験しました。



宮園自治会における「自主防災会」は1986年に設立し、以来、毎年の行事として①総合防災訓練（安否確認、消火訓練、救出救護訓練、起震車体験等）②防災講演会③防災資機材の備蓄と取扱訓練等を行い、地域の防災行動力の強化を図っています。



### 東部中学校区

6月に松ヶ丘旭自治会では自治会主催の、「気軽に集まって楽しく防災を学ぶ」防災カフェを実施しました。近年の地震や大雨による災害に備えて、防災食や防災グッズの紹介をしながら地域の人々と防災に関する情報交換をしました。参加者は簡易トイレを作ったり、保存食の試食を体験しました。

9月から11月にかけては各自治会で消防署の協力を得て起震車の乗車体験、AED・消火器の使用方法等の訓練を受けました。10月には流山市主催の総合防災訓練が催され、シェイクアウト訓練や避難所開設訓練、救出消火訓練などを行いました。



# 民生委員・児童委員、主任児童委員は 子育て応援団です

お気軽に  
ご参加下さい！

## ひよこサロン



名都借福祉会館  
流山市名都借274  
☎04-7144-5510



利用者さまの声  
いただきました。

菌みがきのミニ講座があったので参加  
しましたが、とても勉強になりました。

こういった場所が近くにあることが  
とってもありがたいです。

初めは泣いていた子どもがすっかり  
慣れて、たくさんのお友達と楽しく  
遊んでいるのが、毎回楽しみです

毎回の企画、楽しみにしています。  
ありがとうございました。

人見知り・場所見知りの子どもで  
すが、たくさん遊んでくれたのですぐ  
慣れ、私自身も楽しかった！

工作が本格的で楽しかったです。  
子どもも抱っこしていただけたので安心  
できました。

## 子育てサロンサンサン



流山市生涯学習センター  
流山市中110  
☎04-7150-7474

## ちよつとぼつとタイム



流山市初石公民館  
流山市西初石4-381-2  
☎04-7154-9101



毎年11月に「オレンジリボン・  
児童虐待防止推進キャンペーン」  
を実施しています。

児童虐待は社会全体で解決す  
べき問題です。

少しでも虐待の可能性を感じ  
たら、どうか迷わずお電話下さ  
い。あなたの通告で救われる命  
があります。

逆恨みされるとイヤだしな...  
他人の家のことだしな...  
あんな面白いしなくていいのに...  
あれって虐待かな...  
でも、誰にも話せな...  
どうしたらいいかわからないし...  
あの子、大丈夫かな...

こどもを虐待から守るのに、理由はいらない。

情報提供や相談を!! いちはやく  
まずは連絡 **189**

匿名可能 通話無料 秘密厳守

\*児童相談所 虐待対応ダイヤル、お住まいの地域の児童相談所につながります\*

こどもを守る、社会をめざして、こども家庭庁

ついカッとなってこどもに強くあたってしまう...  
自分でもなにかしなきゃ...  
もっとひどいことをしてしまおうでいい...  
強い言葉で言われると怖いし落ち込む...  
どう接したらいいかわからない...

子育てや親子関係の不安や悩みイライラに、いっしょに向き合います。

きょうだいと比較されるのがつらい...  
笑顔に話せる人もないし...  
衝動的にきつい言葉が出てしまう...後からもすごく後悔...  
ホントはもっとやさしくしたいのに...

親子のための相談LINE

匿名可能 秘密厳守

相談方法

こどもを守る、社会をめざして、こども家庭庁

しっけ? 体罰? こっぺってどっち??

[特設サイトでCHECK] →